

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
患者への接近	1.1 個別情報を示す道具がある	1.1 個別情報を示す道具がある	1.1.1 現在の個々の患者に必要な情報が明記されている	1.1.1 現在の個々の患者に必要な情報が明記されている	患者の保清を行うのに必要な情報を書く記録項目についてお聞きします。 安静度と保清方法の項目が両方ある 2 安静度が保清方法のどちらか1項目がある 1 どちらもない 0	患者の個別情報を示す記録についてお聞きします。 カルテまたはカードックス等に患者の療養上の希望について記載する欄がありますか？以下のあてはまるものを選択してください。 a.療養上の希望について記載する欄がある:2 b.療養上の希望について記載する欄がない:0	これまでの回答結果は95%の病棟では安静度と保清方法の両方があり満点なので、病棟による差がでない。より質の高い状況を点数化するため、患者の希望について書く欄があるかどうかという質問項目を設定した。
患者への接近	1.1 個別情報を示す道具がある	1.1 個別情報を示す道具がある	1.1.2 ケアに必要な個別情報が見ることができる	1.1.2 ケアに必要な個別情報が見ることができる	現在の個々の患者に必要な情報(体温票・看護記録・指示票・ケアプラン用紙)が明記されたものがアクセスしやすい状態にあるかどうかについてお聞きします。 全ての記録物がステーションの中にあり、一元化されている。2 全ての記録物がステーションの中にあるが一元化されていない。1 一つ以上の記録物が欠けている。0	現在の個々の患者に必要な情報が明記されたもの(体温表・看護記録・指示票・ケアプラン用紙)がアクセスしやすい状態にあるかどうかについてお聞きします。アクセス状況について以下の中から当てはまるものを選択してください。 a 全ての記録物がステーションの中にあり、一元化されている:2 b. 全ての記録物がステーションの中にあるが一元化されていない:1 c. 一つ以上の記録物が欠けている:0	Web化を行う際に、一元化されているかどうかという項目に変更したため、回答の率としては、不明であるから、変更なし。
患者への接近	1.2 患者や家族の習慣、希望、時、空間、安全性を尊重する姿勢を持っている	1.2 患者や家族の習慣、希望、時、空間、安全性を尊重する姿勢を持っている	1.2.1 患者を尊重する姿勢を持っている。	1.2.1 患者を尊重する姿勢を持っている。	病棟内にスタッフに対して患者尊重を明示したものがあ る 2 明示したものはない 0  患者尊重を明示したものをスタッフへの意識付けに活用している 2 活用していない 0	病棟内に、スタッフに対して、患者尊重を明示したものがあり、それを活用していますか？明示とは、患者や家族に見えるように表示してあることです。  明示したものがあり、看護職者間で、定期的に、決められた場で注意喚起する機会が設けられている:2 明示したものがあ るが、看護職者間で注意喚起する機会が設けられていない:1 どちらもない:0	回答を3段階に変更する。活用しているかどうかの判断は回答が難しいため、明示したものを年に1回確認するチャンスがあるかどうかの事実を確認する設問とする。 年に数回行うより、定期的に、決められた場で行うよう設定されている方が好ましい。またスタッフ間で確認というよりは、注意喚起するという表現のほうがよいと話し合われた。
患者への接近	1.2 患者や家族の習慣、希望、時、空間、安全性を尊重する姿勢を持っている	1.2 患者や家族の習慣、希望、時、空間、安全性を尊重する姿勢を持っている	1.2.2 患者、家族を尊重することを患者、家族に知らせるシステムがある	1.2.2 患者、家族を尊重することを患者、家族に知らせるシステムがある	患者尊重を患者・家族に明示したものがあ る 2 明示したものはない 0	患者尊重を患者・家族に明示したものがあ る。(例:入院パンフレットなど)*明示とは、患者や家族に見えるように表示してあることです。 明示したものがあ る 2 (-)1 明示したものはない 0	
内なる力を強める	2.1 疾患の予後、痛みの状況回復過程に関する資料がある	2.1 疾患の予後、痛みの状況回復過程に関する資料がある	2.1.1 病気の回復過程、退院後の生活に関して患者に説明するためのパンフレットや資料がある	2.1.1 病気の回復過程、退院後の生活に関して患者に説明するためのパンフレットや資料がある	以下の6つ項目について、該当する患者がいて、説明のためのパンフレットや資料がない患者項目数を以下の中から選んでください。 <6つの項目> 1) 手術を受ける患者 2) 食事指導が必要な患者 3) 生活指導が必要な患者 4) 化学療法を受ける患者 5) 放射線療法をうける患者 6) 医療的な自己管理が必要な患者 a:0項目 6 b:1項目 5 c:2項目 4 d:3項目 3 e:4項目 2 f:5項目 1 g:6項目 0	以下の6つの項目について該当する患者がいて、その患者のための説明のためのパンフレットや資料そろっていますか？ <6つの項目> 1) 手術を受ける患者 2) 食事指導が必要な患者 3) 生活指導が必要な患者 4) 化学療法を受ける患者 5) 放射線療法をうける患者 6) 医療的な自己管理が必要な患者 該当する患者について全てそろっている:2 該当する患者についてそろっていないものがある:1 該当する患者について全てそろっていない:0	以前の質問は回答率には、ばらつきがあり質問としてはよい(6点=15%、5点=30%、4点=15%、3点=20%、2点=5%、1点=10%、0点=5%)。しかし、他の項目とあわせ3段階評価に変更した。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
内なる力を強める		2.1.疾患の予後、痛みの状況回復過程に関する資料がある		2.1.2.パンフレット類を定期的に見直している		パンフレットの見直しはどの間隔で行われていますか？ 1年に1回の見直しが行われている:2 1年以上～3年未満の間隔で見直しを行っている:1 見直しはされていない/3年以上:0	内なる力を強めるための活動としては、そのパンフレットを用いた活動やパンフレットの見直しの作業が行われることが大切である。見直しの間隔がどのくらいかを問うことで、新しい情報を提供できているかを問う。
内なる力を強める		2.1.疾患の予後、痛みの状況回復過程に関する資料がある		2.1.3.パンフレット類について見当する組織がある		パンフレットや資料を改良・変更するための組織(担当チームなど)はありますか？ ある:2 (-) :1 ない:0	パンフレットを責任を持って見直し、患者に提供する組織があるかどうかを問うことで、内なる力を強められるようなパンフレットを提供し管理できる体制にあるかを問う。
内なる力を強める		2.2.患者が自分の状況を理解する場面(インフォームドコンセント)で、看護師が何らかの役割を担っている		2.2.1.入院中の必要な看護についての責任を持って説明する看護師がアサインメントされている。		患者が自分の状況を理解するための看護についてお聞きします。入院中の必要な看護について、どの看護師が責任を持って患者に説明するかが決まっており、その氏名と説明内容を記載する欄がありますか？ 責任看護師の氏名と説明内容を記録する欄がある:2 b.責任看護師の氏名か説明内容のどちらかがない:1 c.どちらもない:0	インフォームドコンセントの場面に看護師が同席をして、患者の様子を観察したり、その後フォローを行うことで、患者の内なる力が強まると考える。そのことを保障するためのしくみとして、明記されたアサインメントとインフォームドコンセントの用紙に看護師のサイン欄があるかを尋ねる。 → 治療の説明は医師の義務、医師の義務にサインをすることを問う必要はないという意見が出された。看護師の義務は治療に伴う看護について説明することなので、そのしくみがあるかどうかを問う設問とする。そのためには、入院中に必要な看護について説明する看護師がアサインされていること、説明した内容について記録を残すこと、説明した看護師と患者のサインが必要だと考えられた
内なる力を強める		2.2.患者が自分の状況を理解する場面(インフォームドコンセント)で、看護師が何らかの役割を担っている		2.2.2.医師の治療の説明の際に、患者の理解を助ける働きを看護師が担っている		医師の治療の説明の際に、患者の理解を助ける働きを看護師が担っていますか？ 医師の治療の説明の際に、同席することが決められている。:2 1(-) :1 医師の治療の説明の際に、同席することが決められていない:0	
内なる力を強める		2.2.患者が自分の状況を理解する場面(インフォームドコンセント)で、看護師が何らかの役割を担っている		2.2.3.退院計画を入院時に計画し患者に示している		退院計画をいつ立てることになっていますか？ 退院計画を、入院時に立てることになっている:2 入院中に立てることになっている:1 立てることになっていない:0	退院計画は、ANA(アメリカ看護協会)でアウトカムとして重要視されており、本プログラムのアウトカム指標に加えることを検討しているため、構造・過程評価にも指標として追加した。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
家族の絆を強める	3.1.重要他者がそばにすることができる設備・備品がある	3.1.家族／重要他者が気持ちよく過ごせる病室以外の空間がある	3.1.1.家族／重要他者が気持ちよく過ごせる空間がある	3.1.1.家族／重要他者が過ごすための病室以外の専用場所は、他者が入ってこないような工夫がされている。(プライバシーが守られている)	家族や面会者と病室以外の場所で話したいという希望があったときに提供する場所があるかどうかについてお聞きします。 1)家族が話せる場所は、プライバシーが十分に守られている (1)他者が突然入ってこない工夫がされている(使用中の札や鍵が取り付けられている) 十分:2 不十分:1 そのような場所はない:0 (2)声もれない(外に立って試してみる) 普通の声もれない:2 普通の声もれる:1 そのような場所はない:0 2)家族が話せる場所は、安楽さが保たれている (1)廊下の話し声がしない(部屋の中で外の声を聞いてみる) 話し声が気にならない:2 話し声が気になる:1 そのような場所はない:0 (2)十分な換気がされている(窓、換気扇、又はエアコンの設置) 十分:2 不十分:1 そのような場所はない:0 3)家族が話せる場所は、利便性がある(希望時にいつでも使用できる) 使用を待ってもらうことはほとんどない:2 使用を待ってもらうことがある:1 そのような場所はない:0	家族／重要他者が面会に来られたときに、患者と一緒に過ごすことができる場所についてお聞きします。家族／重要他者や面会者が話せる専用の場所は、他者が突然入ってこない工夫がされていますか？ a.専用の場所があり、使用中の札や鍵がとりつけられている:2 b.専用の場所があるが、使用中の札や鍵がとりつけられていない:1 c.そのような場所はない:0	過程評価にあわせ大項目の変更を行った。 小項目となる設問に変更した。設問項目の指標自体は、3段階であったので、それぞれの設問を小項目として独立させた。 尺度の十分か不十分かの判断が主観とならないように、括弧で、判断の基準となる文章を加えた。
家族の絆を強める		3.1.家族／重要他者が気持ちよく過ごせる病室以外の空間がある		3.1.2.家族／重要他者が過ごすための専用の場所は、声が漏れない工夫がされている(プライバシー)		家族／重要他者や面会者が話せる専用の場所は、声が漏れないようなところですか？実際にドアを叩いて声を出して確認をしてください。 a.普通の声はもれない:2 b.普通の声はもれる:1 c.そのような場所はない:0	設問を小項目として独立させ、それぞれを3段階の評価とした。
家族の絆を強める		3.1.家族／重要他者が気持ちよく過ごせる病室以外の空間がある		3.1.3.家族／重要他者が過ごすための専用の場所は、廊下の話し声が聞こえず静かである。		家族／重要他者や面会者が話せる専用の場所は、静かなところですか？実際に部屋の中に入り確認をしてください。 a.外の話し声が気にならない:2 b.外の話し声が気になる:1 c.そのような場所はない:0	設問を小項目として独立させ、それぞれを3段階の評価とした。
家族の絆を強める		3.1.家族／重要他者が気持ちよく過ごせる病室以外の空間がある		3.1.4.家族／重要他者が過ごすための専用の場所は、十分な換気がされている。 一削除			旧質問は「十分な換気がされている(窓、換気扇、又はエアコンの設置)」であったが、現在エアコンがない病棟はない。 一削除

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
家族の絆を強める		3.1.家族／重要他者が気持ちよく過ごせる病室以外の空間がある		3.1.5. 専用の場所があり、いつでも使用することができる。		家族／重要他者や面会者と病室以外の場所で話をできる場所は、いつでも希望時に使用できますか？ 使用を待ってもらうことがほとんどない:2 使用を待ってもらうことがある:1 そのような場所はない:0	設問を小項目として独立させ、それぞれを3段階の評価とした。
家族の絆を強める	3.1.重要他者がそばにすることができる設備・備品がある	削除	3.1.2 ベッドサイドに家族がいることのできる十分な空間がある	削除	1) 病室の中・プライバシーが守られている カーテンがある:2 カーテンがない:0 2) ベッドサイド・安楽さが保たれている 患者用と家族が自由に使える椅子がある:2 患者用の椅子がある:1 患者用の椅子がない:0 (a:患者用以外に病室の中に椅子があるかで判断する。他患との共有でもよい) 3) ベッド間隔が十分に確保されている大部屋患者1人当たりの病室面積を下記の中から選択してください。(管理者に確認する) (実測する場合には、トイレ・洗面所を含む) 8m <sup>2</sup> 以上:2 6. 4~8m <sup>2</sup> 未満:1 4. 3~6. 4m <sup>2</sup> 未満:0		病室は多床室での回答となっているが、これまでの調査で100%の病棟がカーテンを取り付けてある。カーテンの取り付けによってプライバシーが守られているかどうかを問うことの意味はないのでこの設問は削除する。
家族の絆を強める		3.2.患者が、ベッドサイドで、家族／重要他者とのつながりを保つことのできる設備がある。		3.2.1. ベッドサイドの安楽さが保たれている。		ベッドサイドで家族／重要他者が気持ちよく過ごすための配慮についてお聞きします。 ベッドサイドの椅子の設備について以下の中から選択してください。 a.患者用と家族が自由に使える椅子がある(患者用以外に病室に椅子があるかで判断する。他患との共有でもよい):2 b.患者用の椅子はあるが、家族用の椅子はない:1 c.患者用の椅子も家族用の椅子もない:0	設問を小項目として独立させた。これまでの調査で、病棟内の椅子の有無に関して、2点(10%)、1点(85%)、0点(5%)で、家族用の椅子を設置している施設は10%と少ないためこの設問は残した。
家族の絆を強める		3.2.患者が、家族／重要他者とのつながりを保つことのできる設備がある。		3.2.2.病室のスペースが十分に確保されている		大部屋患者1人辺りの病室面積を下記の中から選択してください。*不明な場合は、管理者または病院事務局に確認する。 a.8m <sup>2</sup> 以上:2 b.6.4~8m <sup>2</sup> 未満:1 c.4.3~6.4m <sup>2</sup> 未満:0	設問を小項目として独立させた。これまでの調査では得点分布は、2点(45%)、1点(25%)、0点(30%)であった。
家族の絆を強める	3.2.規則に融通性がある	3.2.患者が、家族／重要他者とのつながりを保つことのできる設備がある。	3.2.1. 面会時間が自由、もしくは融通性がある	3.2.3. 時間外面会(夜間滞在)は、自由もしくは融通性がある	面会時間は、対応した看護師の判断で融通することができることになっている 対応した看護師の判断で融通できる:2 師長か主治医に判断を委ねる:1 融通することはない:0	時間外面会(夜間滞在)は、自由もしくは融通し許可することができますか？ a.対応した看護師の判断で融通することができる:2 b.師長または主治医に判断を委ねる:1 c.融通することはない/時間外面会を許可できない:0	これまでの調査では、面会時間を融通できると答えた病棟が100%であった。 重要なのは、家族が役割を果たせたりすることや家族との連絡が取れること、付き添いに関する患者の希望を最大限考慮することである。時間外面会(付き添い)は、基準看護では書類が必要であり、そこには医師のサインが必要である。夜間の滞在に関しては日報に書く前の段階で看護師が判断する必要があるため、そこでの融通性について問うことにする。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
直接ケア	4.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある	4.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある	4.1.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題に関する看護基準がある	4.1.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題に関する看護基準がある	1) 病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題についての看護基準の中に以下の3つの項目について、下記のa~cを選択してください。 <3つの項目> (1)患者の一般的な経過 (2)具体的な観察項目 (3)具体的なケア項目(指導内容) (1)(2)(3)項目が全て明記されている:2 (2)と(3)の項目が明記されている:1 (2)か(3)がない:0  2) 看護基準の見直しが行われている 1年に1回見直されている:2 1~3年に1回見直されている:1 3年以上見直されていない:0	あなたの病棟で特徴的な疾患や問題についての看護基準を1つあげてください。 (例:乳がん術後の看護、PTCA後の看護など) その看護基準の中に以下の3つの項目が含まれていますか?  <3つの項目> (1)患者の一般的な経過 (2)具体的な観察項目 (3)具体的なケア項目(指導内容)  a.(1)(2)(3)項目が全て明記されている b.(2)と(3)の項目が明記されている c.(2)か(3)がない	設問項目を小項目とした。これまでの調査の得点分布は、2点(70%)、1点(25%)、0点(5%)であった。
直接ケア		4.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある		4.1.2.看護基準の見直しがされている		その看護基準の見直しは、どの間隔で行われていますか?  1年に1回見直されている:2 1~3年に1回見直されている:1 3年以上見直されていない:0	設問項目を小項目とした。これまでの調査の得点分布は、2点(30%)、1点(20%)、0点(50%)であった。基準については、どの基準を見たらよいのかを指定できるように設問を設定する必要がある。
直接ケア	4.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある	4.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある	4.1.2 看護師が行う処置についての手順がある	4.1.3.看護師が行う処置についての手順がある	1) 4.1.1.で選択した看護基準の中で必要な処置についての手順がありますか? ある:2 ない:0  2) その手順の見直しはどれほどの間隔で行われていますか? 1年に1回見直されている:2 1~3年に1回見直されている:1 3年以上見直されていない:0	あなたの病棟で必要な処置についての手順がそろっていますか?  すべてある:2 一部作成していないものがある/まだ作成中のものがある:1 ない:0	設問項目を小項目とした。これまでの回答は、ある95%、ない5%。3段階の評価尺度とするため、全てあるかどうかという項目を加えた。
直接ケア		4.1.病棟で起こりうる特徴的な苦痛あるいは問題について基準・手順がある		4.1.4.看護師が行う処置の手順は、見直しがされている。		その手順の見直しはどれほどの間隔で行われていますか? 1年に1回以上見直しや追加が行われている。 1~3年に1回見直されている:1 3年以上見直されていない:0	設問項目を小項目とした。これまでの調査では得点分布は、2点(25%)、1点(25%)、0点(50%)であった。
直接ケア	4.2.看護の質から見た設備・備品がある	4.2.看護の質から見た設備・備品がある	4.2.1 患者の身体の清潔を維持するための設備・備品がある。	4.2.1.石鹸清拭をするための備品がある	1) 以下の石鹸清拭を行うための下記の5つの備品について該当する答えを選んでください。 <5つの備品> 1) ベースン 2) タオル 3) 石鹸類 4) ピッチャー 5) バスタオル 1)~5)の全ての物品がそろっている:2 1)2)3)はそろっている:1 1)2)3)のうち1つでもそろっていない:0  2) シャワー浴あるいは普通入浴のできる設備・備品がある ある:2 ない:0  3) 麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がある 病棟内か病院内にある(移動式を含む):2 病棟内にも病院内にもない:0	患者さんの身体を清潔に保つための備品・設備についてお聞きします。 石鹸清拭を行うための下記の5つの備品について該当する答えを選んでください。  <5つの備品> 1)ベースン 2)タオル 3)石鹸類 4)ピッチャー 5)バスタオル  a.1)~5)の全ての物品がそろっている b.1)2)3)はそろっている c.1)2)3)のうち1つでもそろっていない	設問項目を小項目とした。清拭の備品についてのこれまでの調査では得点分布は、2点(70%)、1点(10%)、0点(20%)であった。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
直接ケア		4.2看護の質から見た設備・備品がある		4.2.2.シャワー浴または普通入浴のできる設備が個別にまたは独立してある→削除		案)シャワー浴あるいは普通入浴のできる設備は、多床室の患者何人あたりに1室ですか？(個室に入浴設備が設置されている場合は除く)  1/16以下床:2 1/16~1/25床:1 1/25床以上:0 →削除	これまでの調査でシャワーや入浴設備は100%設置してある状況であったので、質問を変更する。設備としては、シャワー室や入浴室を共有する人数が少ない病院が増えている。設備を利用する人数によって利便性に差があると考えられるため、何人あたりで使用するかという設問を設定した。しかし、この設問には、解答するのが難しいことや、シャワーと浴室については、他の質問もあるので、削除する。
直接ケア		4.2看護の質から見た設備・備品がある		4.2.3.麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がある		麻痺患者等の臥床患者のための入浴設備として特殊浴槽がありますか？  病棟内にある:2 病棟内がないが、病院内にある:1 そのような設備はない:0	特殊浴槽の設備としては、これまでの調査ではある(85%)、ない(15%)の回答率であった。病棟内にないため、多病棟と共有している施設もあり、利便性などで質がさがると考えられるため、病棟内か病棟外かどうかを問う設問とし、3段階の評価とした。
直接ケア	4.2看護の質から見た設備・備品がある	4.2看護の質から見た設備・備品がある	4.2.2 保清をするための設備・備品の使用に利便性がある	4.2.4.保清をするための設備・備品の利用日数に利便性がある	1)シャワー・浴室が自由に使用することができる (1)1週間の中で使用できる日の制限が少ない 6-7日使用できる:2 4-5日使用できる:1 3日以下しか使用できない:0  (2)使用可能な時間制限が少ない 12時間以上開放されている:2 8-12時間開放されている:1 8時間以下しか開放されていない:0  2) 清拭車の蒸しタオルは保清の際、患者が必要時に十分使用することができる 患者が必要時に必要な枚数使用できる:2 患者が必要時に使用できない:0	シャワー・浴室を1週間のうち、何日開放していますか？  a.6-7日使用できる:2 b.4-5日使用できる:1 c.3日以下しか使用できない:0	設問項目を小項目とした。清拭タオルについては、これまでの調査で95%できると回答したため、削除した。
直接ケア		4.2.看護の質から見た設備・備品がある		4.2.5.保清をするための設備・備品の利用時間に利便性がある		シャワー・浴室は1日のうち、何時間ぐらい開放していますか？  12時間以上開放されている:2 8-12時間開放されている:1 8時間以下しか開放されていない:0	設問項目を小項目とした。
直接ケア	4.3看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある	4.3看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある	4.3.1看護師は患者の日常生活に責任を持っている	4.3.1.担送患者の看護計画の中には、個別性のある清潔のケア計画が含まれている	1)担送の患者の看護計画の中に「清潔・食事・移動・排泄」に関する計画が含まれていますか？ 清潔の援助について ある:1 ない:0 食事の援助について ある:1 ない:0 移動の援助について ある:1 ない:0 排泄の援助について ある:1 ない:0  2)床上患者に保清をする人が明示されていますか？ アサインメントする人と保清する人の両方が明示されている:2 アサインメントする人と保清する人のどちらかが明示されている:1 アサインメントする人と保清する人のどちらも明示されていない:0	担送患者の清潔、食事、移動、排泄に関する看護計画についてお聞きします。 担送患者の看護計画の中に、清潔に関する個別情報と看護計画が含まれていますか？ (* 個別情報とは、患者の身体情報や生活情報や好みをききます。)  a.個別情報と看護計画の両方が含まれている b.看護計画が含まれている c.看護計画がない	これまでは、清潔、食事、移動、排泄をまとめて尋ねていたが、それぞれに関して尋ねることとした。評価尺度を3段階とするため、個別性のある看護計画が立てられているかどうかを評価尺度に入れた。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
直接ケア		4.3看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある		4.3.2.担送患者の看護計画の中には、個別性のある食事のケア計画が含まれている		担送患者の看護計画の中に、食事に関する個別情報と看護計画が含まれていますか？ (* 個別情報とは、患者の身体情報や生活情報や好みを含みます。) a.個別情報と看護計画の両方が含まれている:2 b.看護計画が含まれている:1 c.看護計画がない:0	評価尺度を3段階とするため、個別性のある看護計画が立てられているかどうかを評価尺度に入れた。
直接ケア		4.3看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある		4.3.3.担送患者の看護計画の中には、個別性のある移動のケア計画が含まれている		担送患者の看護計画の中に、移動に関する個別情報と看護計画が含まれていますか？ (* 個別情報とは、患者の身体情報や生活情報や好みを含みます。) a.個別情報と看護計画の両方が含まれている b.看護計画が含まれている c.看護計画がない	評価尺度を3段階とするため、個別性のある看護計画が立てられているかどうかを評価尺度に入れた。
直接ケア		4.3看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある		4.3.4.担送患者の看護計画の中には、個別性のある排泄のケア計画が含まれている		担送患者の看護計画の中に、排泄に関する個別情報と看護計画が含まれていますか？ (* 個別情報とは、患者の身体情報や生活情報や好みを含みます。) a.個別情報と看護計画の両方が含まれている b.看護計画が含まれている c.看護計画がない	評価尺度を3段階とするため、個別性のある看護計画が立てられているかどうかを評価尺度に入れた。
直接ケア		4.3看護業務の中に日常生活援助に責任を負える体制がある		4.3.5.床上患者に保清をする人が明示されている		担送患者に責任をもって保清をする人が明示されていますか？ * 明示とは、関係者にわかるように表示してあることです。 a.明示されている b.明示されていない	これまでの調査の得点分布は、2点(45%)、1点(20%)、0点(35%)であった。今回項目の変更なし。
場をつくる	5.1看護チーム内の役割分担が明確になっている	5.1看護チーム内の役割分担が明確になっている	5.1.1業務調整がどのようにされているかを明示するシステムがある	5.1.1.業務調整のためのシステムがある	1)調査当日の日勤帯の看護師の業務分担表について当てはまるものを選んでください。 調査当日の業務分担表があり、受け持ち患者または仕事の内容が明示されている:1 分担表がない、もしくはあっても業務分担表が記載されていない:0 2)その日の日勤帯の責任者が明示されているかどうかについてお聞きします。 その日の責任者として氏名が明示されている:1 その日の責任者が明示されていない:0	調査日の業務・役割分担についてお聞きします。 調査当日の日勤帯の看護師の業務分担をボード等を用いて明示していますか？ a.業務分担表があり、受け持ち患者または仕事の内容が明示されている:2 b.業務分担表はあるが、受け持ち患者または仕事の内容が明示されていない:1 c.業務分担表はない:0	設問項目を小項目とした。3段階評価とするため1段階増やした。機能別ナーシングの場合は仕事内容の明示が、プライマリーの場合は、受け持ち患者の明示が必要である。
場をつくる		5.1看護チーム内の役割分担が明確になっている		5.1.2.業務調整のための責任者が明示されている		その日の日勤帯の責任者(師長やチームリーダー、チーフなど)がボード等を用いて明示されていますか？ a.その日の責任者として氏名が明示されている b.その日の責任者が明示されていない	設問項目を小項目とした。3段階評価とするため2段階増やした。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
場をつくる	5.1看護チーム内の役割分担が明確になっている	5.1看護チーム内の役割分担が明確になっている	5.1.2 役割毎の業務規定がある	5.1.3 師長の業務規定がある	1)師長の業務規定について 責任内容 明示されている:1 明示されていない:0 業務内容 明示されている:1 明示されていない:0 2)その他の役割の業務規程についてそれぞれの看護体制ごとに必要な役割について、お答えください。 全ての役割について責任内容と業務内容が明示されている:2 どれかの役割について責任内容か業務内容のどちらかがない:1 全ての役割について責任内容も業務内容もない:0	師長の業務規定には、責任内容(『〇〇に責任をもつ』という表現がありますか？ a.責任内容と業務内容が両方記載されている b.責任内容または業務内容のどちらかが記載されている c.両方とも記載されていない	設問項目を小項目とした。3段階にするために、2つの設問をあわせた。これまでの調査の得点分布は、2点(65%)、1点(30%)、0点(5%)であった。
場をつくる		5.1看護チーム内の役割分担が明確になっている		5.1.4.看護体制ごとの必要な役割について業務規定がある		その他の役割の業務規程には責任内容および業務規定が記載されていますか？*点検する業務規定は、看護体制の種類によって異なります。 例(例1)プライマリーナーシングの場合プライマリーナースの責任内容と業務内容 (例2)チームナーシングの場合リーダーおよびメンバー(スタッフ)の責任内容と業務内容 (例3)混合型ナーシングの場合プライマリーナース、リーダー、スタッフ(メンバー)の責任内容と業務内容 (例4)機能別ナーシングの場合各機能の責任内容と業務内容 a.全ての役割について責任内容と業務内容が記載されている b.どれかの役割について責任内容か業務内容のどちらかがない c.全ての役割について責任内容も業務内容もない	
場をつくる	5.2看護師同士の協力体制がある	5.2看護師同士の協力体制がある	5.2.1 看護業務量に応じた人員配置の変更にに関する基準がある。	5.2.1.病棟の業務量が増えたときに勤務者数を増やすための決まり事がある(人員配置)	1)病棟の業務量が増えたときに勤務者数を変えるための決まり事があるかどうかについてお聞きします。 決まり事があり、明文化されている:2 決まり事はあるが明文化されていない:1 決まり事はない:0 2)病棟のスタッフに欠員が生じたときに勤務者数を変えるための決まりごとがある 決まり事があり、明文化されている:2 決まり事はあるが明文化されていない:1 決まり事はない:0	病棟の業務量が増えたときに人員配置を変えるための基準がありますか？ 決まり事があり、明文化されている:2 決まり事はあるが明文化されていない:1 決まり事はない:0	設問項目を小項目とした。これまでの得点分布は、2点(15%)1点(60%)、0点(25%)であった。
場をつくる		5.2看護師同士の協力体制がある		5.2.2.病棟のスタッフに欠員が生じたときに勤務者数を変えるための決まり事がある		病棟のスタッフに欠員が生じたときに人員配置を変えるための決まりごとがありますか？ 決まり事があり、明文化されている:2 決まり事はあるが明文化されていない:1 決まり事はない:0	設問項目を小項目とした。これまでの得点分布は、2点(9.1%)、1点(27.3%)、0点(63.6%)であった。



大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
場をつくる	5.3看護 師間で情 報を共有 したり、 働きかけ の方向性 を考える 場がある	5.3看護 師間で情 報を共有 したり、 働きかけ の方向性 を考える 場がある	5.3.1 ケア 計画の チェック機 構がある	5.3.1.看護 師間で看 護計画を 見直すた めの場や 機会があ り、その記 録がある	1)看護師間で看護計画を見直す ための場や機会があって、その 記録がありますか？ 場や機会があり、記録がある:2 場や機会があるが、記録はな い:1 場や機会はない:0 2) 1)について次回の場や機会 の開催日が決まっていますか？ 決まっている:2 決まってい ない:0	看護師間で情報を共有したり、働 きかけの方向性について考える場 についてお聞きします。 看護師間で看護計画を見直すた めの場や機会があって、その記録が ありますか？ a.場や機会があり、記録がある b.場や機会があるが、記録はない c.場や機会はない	設問を小項目とした。これま での得点分布は、2点 (70%)、1点(20%)、0点 (10%)であった。
場をつくる		5.3看護 師間で情 報を共有 したり、 働きかけ の方向性 を考える 場がある		5.3.2.看護 師間で看 護計画を 見直すた めの場や 機会、次 の開催日 が決まっ ている		看護師間で看護計画を見直すた めの場や機会、次の開催日が決 まっていますか？ 決まっている:2 —(1) 決まっていない:0	設問を小項目とした。これま での回答は、決まっている (55%)、決まっていない(45%) であった。
場をつくる	5.4他職 種が集 まって話 し合いの 場がある	5.4他職 種が集 まって話 し合いの 場がある	5.4.1.必要 に応じて他 職種が集 まり、話し 合うこと ができるシ ステムがある	5.4.1.必要 に応じて他 職種が集 まり、話し 合うこと ができるシ ステムがある	1)患者の看護ケアに関して、他 職種が集まり話し合う場があり、 その記録があるかどうかについ てお聞きします。 話し合う場があり、記録がある:2 話し合う場はあるが、記録はな い:1 話し合う場はない:0 2)話し合う場を作り運営するこ とに関して看護師は何らかの役割 をとっている(メンバーの招集、連 絡、記録、運営) 役割をとっている:1 役割をと っていない:0	看護師、医師、療法士など他職種 との話し合いの場についてお聞き します。 患者の看護ケアに関して、他職種 と集まり話し合う場があり、その記 録がありますか？ a.話し合う場があり、記録がある b.話し合う場はあるが、記録はない c.話し合う場はない	設問を小項目とした。これま での得点分布は、2点 (45%)、1点(30%)、0点 (25%)であった。
場をつくる		5.4他職 種が集 まって話 し合いの 場がある		5.4.2.必要 に応じて他 職種が集 まり、話し 合う場を看 護師が役 割をとっ て運営して いる		話し合う場を作り運営するこ とに関して看護師は何らかの役割を とっていますか？(メンバーの招集、連 絡、記録、運営など) a.主体的な役割をとっている b.主体的ではないが、役割をとっ ている c.役割をとっていない	設問を小項目とした。出席し ているだけではなく、主体的 に運営の役割を担うことが質 が高いと考え、評価尺度とし た。
場をつくる	5.5スタッ プ間の関 係性が良 い	5.5スタッ プ間の関 係性が良 い	5.5.1.病棟 内の雰囲気 がいい	5.5.1.病棟 内の看護 師間の雰 囲気がい い	病棟では看護師同士や他の職種 と気持ちよく仕事ができますか？ 1)看護師同士 非常に気持ちよく仕事ができる:3 まあまあ気持ちよく仕事ができ る:2 あまり気持ちよく仕事はできな い:1 気持ちよく仕事ができない:0 2)他職種 非常に気持ちよく仕事ができる:3 まあまあ気持ちよく仕事ができ る:2 あまり気持ちよく仕事はできな い:1 気持ちよく仕事ができない:0	スタッフ間の関係性についてお聞 きします。 病棟では、看護師同士が気持ちよ く仕事ができますか？ a.非常に気持ちよく仕事ができる:2 b.まあまあ気持ちよく仕事ができ る:1 c.あまり気持ちよく仕事はできな い:0	設問を小項目とした。得点分 布は、3点(20%)、2点 (65%)、1点(15%)、0点(0%) で、気持ちよく仕事ができな いと答えた人はいないため、 その選択肢を除いた3段階と した。
場をつくる		5.5スタッ プ間の関 係性が良 い		5.5.2.他職 種との雰 囲気がい い		他職種と気持ちよく仕事ができ ていますか？ 非常に気持ちよく仕事ができる:2 まあまあ気持ちよく仕事ができ る:1 あまり気持ちよく仕事はできな い:0	設問を小項目とした。得点分 布は、3点(20%)、2点 (65%)、1点(15%)、0点(0%) で、気持ちよく仕事ができな いと答えた人はいないため、 その選択肢を除いた3段階と した。

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
インシデントを防ぐ	6.1インシデント対応システムがある	6.1.入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている →削除	6.1.1.入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている	6.1.1.入浴設備に十分な手すりが設置されている →削除	入浴設備の安全性が確保されていますか？ 1) 手すり 浴槽に安全にたどりつくのに十分:2 不十分:1 手すりはない:0 2) 滑り止め(浴室の床にすべらない工夫がされている) 浴槽に安全にたどりつくのに十分:2 不十分:1 滑り止めはない:0 3) ナースコール(十分とは、ナースコールが脱衣所と浴室にそれぞれ設置されていることをいう) 患者が使いやすい場所にある:2 あるが不十分:1 ナースコールはない:0 トイレの設備の安全性が確保されていますか？ 1) 手すり 便座に安全にたどりつくのに十分:2 不十分:1 手すりはない:0 2) ナースコール 患者が使いやすい場所に十分ある:2 あるが不十分:1 ナースコールはない:0	入浴設備に手すりが設置されていますか？ 脱衣所から洗い場・浴槽まで手すりが続いている:2 手すりはあるが、脱衣所・洗い場・浴槽までとぎれているところがある:1 手すりはない:0 →削除	最近の入浴設備に、手すりやナースコールは設置されており、その施設が新しいか古いかを問う設問になってしまっている。インシデントを防ぐための設備としては、浴室とトイレの設備を問うことをやめて、エビデンスがでているところから項目を設定する。
インシデントを防ぐ		6.1.入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている →削除		6.1.2.入浴設備に滑らない工夫がされている →削除		入浴設備に滑り止めが設置されていますか？ 脱衣所・洗い場・浴槽まで、滑り止めが設置されている:2 あるが、浴槽に安全にたどり着くまでに設置されていないところがある:1 滑り止めはない:0 →削除	
インシデントを防ぐ		6.1.入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている →削除		6.1.3.入浴設備にナースコールが設置されている →削除		入浴設備にナースコールは設置されていますか？ ナースコールが脱衣所と浴室にそれぞれ設置されている:2 設置されているが、とどきにくいところにあったり、脱衣所と浴室のどちらかが設置されていない:1 ナースコールはない:0 →削除	削除
インシデントを防ぐ		6.1.入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている →削除		6.1.4.トイレの設備に手すりが設置されている →削除		トイレに手すりが設置されていますか？ 便座にたどり着くのに十分:2 不十分:1 手すりはない:0 →削除	削除
インシデントを防ぐ		6.1.入浴およびトイレの設備の安全性が確保されている →削除		6.1.5.トイレの設備にナースコールが設置されている →削除		トイレにナースコールが設置されていますか？ 患者が使いやすい場所に十分ある:2 あるが不十分:1 ナースコールはない:0 →削除	削除

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
インシデントを防ぐ		6.1.安全に過ごすための設備・基準が整っている		6.1.1.褥創を予防するためのアセスメントシートと備品(体圧分散マット)がある		患者さんの安全を守るための設備・システムについてお聞きします。 褥創発生を予防するためのアセスメントシートとマットレスがありますか？当てはまるものを以下の中から選択してください。 a.褥創のリスクを見極めるためのアセスメントシートがあり、体圧分散用マットがある:2 b.アセスメントシートかマットのどちらかがない:1 c.どちらもない:0	褥創については、アセスメントを確実にし、体圧分散マットを使用することで重症化を防ぐことができるとエビデンス(文献1~12)がでているため、設問を設定した。
インシデントを防ぐ		6.1.安全に過ごすための設備・基準が整っている		6.1.2.転倒転落を予防するためのアセスメントシートと教育プログラムがある		転倒・転落のリスクを見極めるためのアセスメントシートと教育プログラムがありますか？当てはまるものを以下の中から選択してください。 a.転倒のリスクを見極めるアセスメントシートがあり、教育プログラムがある:2 b.アセスメントシートか教育プログラムのどちらかがない:1 c.どちらもない:0	転倒転落の予防には、そのリスクの見極めと看護師の教育であるというエビデンス(文献1, 13-18)があるので設問を設定した。
インシデントを防ぐ		6.1.安全に過ごすための設備・基準が整っている		6.1.3.院内にCDC/厚生労働省/日本看護協会のガイドラインに基づいた感染防止基準がある		院内にCDC/厚生労働省/日本看護協会のガイドラインに基づいた感染防止基準がありますか？ 感染防止基準は、CDC/厚生労働省/日本看護協会のガイドラインに基づいている:2 感染防止基準があるが、CDC/厚生労働省/日本看護協会のガイドラインに基づいていない:1 基準がない/わからない:0	過程評価に対応させて、基準があるかないかを問う質問を追加した。
インシデントを防ぐ	6.1インシデント対応システムがある	6.2.インシデント対応システムがある	6.1.2.インシデント発生時の対応システムがある	6.2.1.インシデント発生を把握している。	1) 患者の転倒・転落が生じた際に報告するシステムがありますか？ ある:2 ない:0 1) 患者の転倒・転落が生じた際、どのような場合にインシデントレポートを書くのかの基準がある基準があり、明文化されている:2 基準はあるが、明文化されていない:1 基準がない:0 2) 転倒・転落が生じた際に発生から報告、事後処理までの手順について明記されたものがある明記されたものがある:2 明記されたものはない:0	インシデントが発生した後の対応システムについてお聞きします。インシデントが発生したときに書くレポートについて以下から当てはまるものを選択してください？ a.インシデントレポートを集計し分析し、結果は医療従事者間に公表される:2 b.分析されているが、公表されていない:1 c.レポートを書く、または分析・公表するしくみがない:0	率が95%であるため削除する。 インシデントレポートの基準に関しては、これまでの調査では2点(40%)、1点(45%)、0点(15%)であった。インシデントレポートを書くことでインシデントが減少しないというエビデンスがでている(文献1, 19-22)。そのレポートを集計して分析し現状を把握し、共有することができなければ、レポートを行う意味がないと考えられるので、そのシステムがあるかを問う項目を設定した。
インシデントを防ぐ		6.2.インシデント対応システムがある		6.2.2.インシデント発生から報告、事後処理までの手順について明記されたものがある		インシデントが生じた際に発生から報告、事後処理までの手順について明記されたものがありますか？ a.明記されたものがある:2 b.明記されたものはないが、決まり事がある:1 c.明記されたものはない:0	評価を3段階とした

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
インシデントを防ぐ	6.1.インシデント対応システムがある	6.3.インシデントを防ぐのに必要な人員配置がある。	6.1.3.インシデントを防ぐのに十分な人員配置がある。	6.3.1.ケアを行うための看護師の数が十分ある	1)調査月に病棟が診療報酬上の体制として申請している1看護師あたりの患者数は何人ですか？ 1看護師あたり2人:4 1看護師あたり2.5人:3 1看護師あたり3人:2 1看護師あたり3.5人:1 1看護師あたり4人以上:0 2)調査日の看護師1人あたりの護送患者割合について下記の式に当てはめては計算式によって算出した数値を元に解答してください。 護送患者数( )人看護師職員数( )人得点=3-(護送患者数÷看護師数×10) *看護師とは、看護師数+准看護師数である。得点を下記から選んでください。 3以上:4 2以上3未満:3 1以上2未満:2 0以上1未満:1 0未満(マイナス):0	インシデントを防ぐための人員配置についてお聞きします。 調査月に病棟の平均在院患者数は、1看護職あたり何人ですか？ a.1看護職あたり2人以下:2 b.1看護職あたり2.5以上~3人未満:1 c.1看護職あたり3人以上:0	評価を3段階とした
				6.3.2.夜間の看護師数が十分である。	夜間の看護職1人あたりの患者は何人ですか？ a.1看護職あたり15人 b.1看護職あたり20人 c.1看護職あたり25人		
インシデントを防ぐ		6.3.インシデントを防ぐのに必要な人員配置がある。	6.3.2.護送患者に対する看護師の割合が高い→削除		転倒するのは、護送患者ということで以前より護送患者を対象にしていた。全研究(M病院の介入)結果から、護送患者と看護師の割合で安全性を問う方がよいことが明らかになった。しかし、点数化が難しいので今後調査する目的で、担送と護送、独歩の人数を調べるだけにしようか？ → ・6.3.2は得点化せず、担送・護送・独歩の人数の把握だけをする。		
	看護に必要な知識をもった看護師がいる		受け持ち患者の状態を的確に把握できる知識を備えた看護師が多い	看護師資格(看護師・准看護師)の構成を見ます。下記の計算式より、看護師比率を計算し、選択肢から選んでください。 看護師比率=看護師数÷(看護師数+准看護師数)×100 看護師比率 100%:4 看護師比率 85~100%未満:3 看護師比率 70~85%未満:2 看護師比率 40~70%未満:1 看護師比率 40%未満:0			
	看護要員が患者の希望に添えるストラテジーを多く持っている		患者の希望に添ったケアを提供できる看護師がいる	看護師資格(看護師・准看護師)の構成を見ます。下記の計算式より、看護師比率を計算し、選択肢から選んでください。 看護師比率=看護師数÷(看護師数+准看護師数)×100 看護師比率 100%:4 看護師比率 85~100%未満:3 看護師比率 70~85%未満:2 看護師比率 40~70%未満:1 看護師比率 40%未満:0			

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	質問項目と評価尺度	新質問項目と評価尺度	改訂理由
	看護要員が患者の希望に添えるストラテジーを多く持っている		患者の希望に添ったケアを提供できる看護補助者がいる。		調査月に病棟が診療報酬上の体制として申請している1看護補助者あたりの患者数は何人ですか？ 1看護補助者あたり10人以上:1 1看護補助者あたり10人未満:0	看護補助加算はどれをとっていますか？(点数化しない) 6:1 10:1 15:1	

## 文献リスト

- 1 <http://www.ahcpr.gov/clinic/ptsafety/>(2004年現在),医療をより安全に:患者安全に関する医療行為のエビデンス評価,Making Health Care Safer: A Clinical Analysis of Patient Safety Practices の抄録, Agency for Healthcare Research and Quality.
- 2 Norton D, McLaren R, Exton-Smith AN. *An investigation of geriatric nursing problems in hospital London*: Churchill Livingstone;1962
- 3 Bergstorm N, Braden BJ, Laguzza A, Holman V. The Braden Scale for Predicting Pressure Sore Risk. *Nurs Res* 1987;36:205-210.
- 4 Xakellis GC, Frantz RA, Arteaga M, Nguyen M, Lewis A. A comparison of patient risk for pressure ulcer development with nursing use of preventive interventions. *J Am Geriatr Soc* 1992;40:1250-1254.
- 5 Cullum N, Deeks J, Sheldon TA, Song F, Fletcher AW. Beds, mattresses and cushions for pressure sore prevention and treatment. In : *The Cochrane Library*, Issue 4,2000.Oxford: Update Software.
- 6 Hofman A, Geelkerken RH, Wille J, Hamming JJ, Hermans J, Breslau PJ. Pressure sores and pressure-decreasing mattress: controlled clinical trial. *Lancet* 1994;343:568-571.
- 7 Santry JE, Butler MK, Whyman JD. A comparison study of types of hospital mattress to determine which most effectively reduces the incidence of pressure sores in elderly patients with hip fractures in a District General Hospital Report to Northern & Yorkshire Regional Health Authority 1994
- 8 Gray DG, Campbell M. A randomized clinical trial of two types of foam mattress. *J Tissue Viability* 1994;4:128-132.
- 9 Collier ME. Pressure-reducing mattress. *J Wound Care* 1996;5:207-211.
- 10 Anderson KE, Jensen O, Kvorning SA, Bach E. Decubitus prophylaxis: a prospective trial on the efficiency of alternating-pressure air-mattress and water-mattress. *Acta Derm Venereol(Stockholm)* 1982;63:227-230.
- 11 Thomas DR. Issues and dilemmas in the prevention and treatment of pressure ulcers: a review. *J Gerontol* 2001;56A:M328-M40.
- 12 Aronovitch SA. A comparative, randomized, controlled study to determine safety and efficacy of preventive pressure ulcer systems: preliminary analysis. *Adv Wound Care* 1998;11:15-16.
- 13 Tinetti ME, Speechley M, Ginter SF. Risk factors for falls among elderly persons living in the community. *N Engl J Med* 1988;319:1701-1707.
- 14 Oliver D, Britton M, Seed P, Martin Fc, Hopper AH. Development and evaluation of evidence based risk assessment tool (STRATIFY) to predict which elderly inpatients will fall :case-control and cohort studies. *BMJ*1997;315:1049-1053.
- 15 Whitney SL, Poole JL, Cass SP. A review of balance instruments for older adults. *Am J Occup Ther* 1998;52:666-671.
- 16 Shumway-Cook A, Baldwin M, Polissar NL, Gruber W. Predicting the probability for falls in community-dwelling older adults. *Phys Ther* 1997;77:812-819.
- 17 Tinetti Me. Performance-oriented assessment of mobility problems in elderly patients. *J AM Geriatr Soc* 1986;34:119-126.
- 18 Ray WA, Taylor JA, Meador Kg, et al. A randomized trial of a consultation service to reduce falls in nursing homes. *JAMA* 1997;278:557-562.
- 19 Cullen D, Bates D, Asmell A, Cooper J, Nemeskal A, Leape L. The incident reporting system does not detect adverse events: a problem for quality improvement. *Jt Comm J Qual Improv* 1995;21:541-548.
- 20 O'Neil A, Petersen L, Cook E, Bates D, Lee T, Brennan T. Physician reporting compared with medical-record review to identify adverse medical events. *Ann Intern Med* 1993;119:370-376.
- 21 Welsh C, Pedot R, Anderson R. Use of morning report to enhance adverse event detection. *J Gen Intern Med* 1996;11:454-464.
- 22 Weingart SN, Ship AN, Aronson MD. Confidential clinician-reported surveillance of adverse events among medical inpatients. *J Gen Intern Med* 2000;15:470-477.

**資料 2**

**Web 自己評価過程評価改訂箇所一覧**

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	新評価尺度	質問項目と評価尺度	改訂理由
患者への接近	看護師は、患者や家族と関係を作らな患者把握していく。	1.1. 看護師は、根拠をもつて患者の抱えている	1-1 看護師は、患者や家族が望んでいることを知っている	1.1.1. 看護師は患者や家族が望んでいることを知っている。	それはどのようにしてわかったのですか。あなたの自己評価を選んでください。 3: 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した 2: 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した 1: その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した 0: 知らない	5. あなたは**さんが病気や入院について、どうなりたいと思っているのかを知っていますか。その内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。 <患者さんやご家族がどうなりたいと思っているか、具体的に教えてください> <それはどのようにしてわかったのですか。> <あなたの自己評価を選んでください。> a. 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した b. 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した d. 知らない 評価尺度 知っている 3 確認済み 1 推測 1 知らない 0	
患者への接近	看護師は、患者や家族と関係を作らな患者把握していく。	1.1. 看護師は、根拠をもつて患者の抱えている	1-2 看護師は、患者や家族がどのような情報を欲しているかを知っている	1.1.2. 看護師は患者や家族がどのような情報をほしいと思っているのかを知っている。	あなたは、**さんがどのような情報を欲しいと思っているかを知っていますか。その情報を一つあげて、内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。> それはどのようにしてわかったのですか。あなたの自己評価を選んでください。 3: 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した 2: 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した 1: その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した 0: 知らない	6. 患者さんやご家族が望んでいることについてお聞きします。 6-1)あなたは、**さんがどのような情報を欲しいと思っているかを知っていますか。その情報を一つあげて、内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。 <それはどのような情報ですか。具体的に教えてください。> <それはどのようにしてわかったのですか。> <あなたの自己評価を選んでください。> a. 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した b. 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した c. その患者のことではなく一般的な患者の反応から憶測した d. 知らない 評価尺度 知っている 3 確認済み 2 推測 1 憶測 1 知らない 0	

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	新評価尺度	質問項目と評価尺度	改訂理由
患者への接近	看護師は、患者や家族関係を作らな患者把握していく。	1.1. 看護師は、根拠をもつて患者や家族の把握している	1-3 看護師は、患者や家族がどのようなことをしたいと思っているかを知っている	1.1.3. 看護師は患者や家族がどのようなことをしたいと思っているかを知っている。	それはどのようにしてわかったのですか。あなたの自己評価を選んでください。 3: 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した 2: 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した 1: その患者のことでなく一般的な患者の反応から憶測した 0: 知らない	6-3) あなたは、**さんがどのようなことをしたいと思っているかをお書きいただけますか。その内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。<それはどのようなことですか。具体的にお書きください。> > <それはどのような出来事があったわけですか。> <あなたの自己評価を選んでください。> a. 患者に直接自分が確認して知っている、もしくは記録類から確認した b. 直接患者に確認したわけではないが、患者の反応や言動から察した c. その患者のことでなく一般的な患者の反応から憶測した d. 知らない 評価尺度 知っている 確認済み3 推測2 憶測1 知らない 0	
患者への接近	看護師は、患者や家族関係を作らな患者把握していく。	削除	1-3 看護師は、患者や家族がどのようなことをしたいと思っているかを知っている	削除	削除	6-4) **さんやご家族がしたいと思っていることについて、どうしていますか。出来るだけ具体的にお書きください。 評価尺度 具体的方略を持っている/実施している 1 " 持っていない 0	*1.1.3. 実施することに(0~1)の配点があるが、患者への接近では、知っているかどうかは重要であるため、実施はしてほしいことをしているかどうかは削除とする。
患者への接近	看護師は、患者や家族関係を作らな患者把握していく。	1.2. 看護師は患者のや家族のおかれている状態・状況を把握している。	1-4 看護師は、患者の状況・状態を把握している	1.2.1. 患者の医学的側面の把握をしている。	**さんの看護計画を立てるときに考慮した身体状態についてお書きください。 あなたの自己評価を選んでください。 3: 記録物や患者を直接観察して把握した 2: 「事実」を直接確認していないが、申し送りなどで把握した 1: (-) 0: 医学的な側面の把握をしていない	2. **さんの身体状態・生活の状況について今一番気をつけていることとそれに対する看護ケアをお書きください。 3. **さんの今後の見通しをあなたがわかる範囲で記入してください。 評価尺度 合計得点で判断する ・医学的に把握している 1 ・患者の生活状況がわかる 1 ・その患者に対する看護ケアがある 1	小項目を3分割し、ここでは患者の医学的側面の把握について問う。
患者への接近		1.2. 看護師は患者のや家族のおかれている状態・状況を把握している。		1.2.2. 患者の生活状況を把握している。	< **さんの看護計画を立てる上で考慮した生活上の問題についてお書きください。 あなたの自己評価を選んでください。 3: 生活状況を直接確認して把握した 2: 「事実」を直接確認していないが、申し送りなどを通して把握した 1: (-) 0: 生活状況を把握していない		小項目を3分割し、ここでは患者の生活状況についての把握を問う。



大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	新評価尺度	質問項目と評価尺度	改訂理由
患者への接近		1.2. 看護師は患者のや家族のおかれている状態・状況を把握している。		1.2.3. 患者に対して個別の看護ケアがある。	<p>&lt; **さんについて、今一番気をつけていることに対する看護ケアの内容を具体的にお書きください。 &gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3: 他の模範となり、個別的な反応への対応を含めた看護ケアがある 2: スタンダードな看護ケアがある 1: (-) 0: 看護ケアがない</p>		小項目を3分割し、ここでは患者への個別ケアについて問う。
患者への接近	看護師は、患者や家族と関係作りながら患者を把握していく。	1.3. 看護師は患者や家族との関係づくりをしている。	1-5 看護師は自己紹介をする	1.3.1. 看護師は自己紹介および役割紹介をしている。	<p>&lt; 今日あなたは自分の役割を、**さんやご家族にどのように伝えましたか。具体的にお書きください。 &gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3: 自己紹介をして、自分が担当する役割や責任を述べている 2: 自己紹介する 1: (-) 0: 自己紹介をしていない</p>	<p>14. 今日あなたは自分の役割を、**さんやご家族に伝えましたか。</p> <p>a. はい b. いいえ</p> <p>評価尺度 役割を伝えている 1 " 伝えていない 0</p>	<p>自己の役割紹介について、もっと高いスタンダードとするために、役割と自己紹介を同じ中項目で評価をし、「関係性をつくりながら患者を把握する」というところから関係づくりを行うための看護活動について評価する。今後看護師が行わなければならないことは、役割の説明、責任を伝えること、患者との契約、関係づくりである。高度な看護ケアとなる教育的要素を踏まえた内容に変更する。患者の信頼関係についても検討したが、信頼関係については、その日の患者で調査することは難しいので、項目立てをしない。</p>
患者への接近	看護師は、患者や家族と関係作りながら患者を把握していく。	削除	1-5 看護師は自己紹介をする	削除		<p>15. あなたは、**さんやご家族に初対面の時に自己紹介をしましたか。</p> <p>a. はい b. いいえ</p> <p>評価尺度 自己紹介をしている 1 " していない 0</p>	同上
患者への接近	看護師は、患者や家族と関係作りながら患者を把握していく。	1.3. 看護師は患者や家族との関係づくりをしている。		1.3.2. 入院治療に伴う患者と看護師の役割と責任について話し合い、明確にする。	<p>&lt; 入院治療生活における**さんの役割と責任についてお書きください。 &gt;</p> <p>注) 入院治療に伴う**さんの役割と責任とは、病状改善のために患者さんが自分のできる努力を行うことをいいます。入院生活上のルールに従うこと(禁煙、外出規制など)はこの評価に含まれていない。</p> <p>その役割と責任はどのように決定しましたか。</p> <p>3: 協議してそれぞれの役割と責任を明確にした 2: (-) 1: 協議していないが、それぞれがすべきことを伝えた 0: お互いにするを明らかにしていない</p>		同上

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	新評価尺度	質問項目と評価尺度	改訂理由
内なる力を強める	看護師は患者の状況を理解を促す。	2.1. 患者の状況を理解を促す。	(2-A-1) 看護師は、患者や家族のおかれている状態・状況を説明している	2.1.1. 看護師は、患者が欲しいと思っ ている情報を伝える。	<p>***さんやご家族が欲しいと思っ ている情報につい て、その情報をど のように伝えま したか。</p> <p>3: 自分が伝えた、もしくは 医師が伝える場をつ くった 2: 間接的に伝えた (パンフレット等) 1: (-) 0: 伝えていない/ 知らない</p>	<p>6-2) その情報を***さんやご 家族にどのように 伝えましたか。 A. 自分が伝えた b. 医師が伝える場 を作り伝えた c. 間接的に伝えた (例: 誰かに頼 んだ、パンフレット を渡した) d. 伝えていない</p> <p>評価尺度 自分が伝えた 2 医師が伝える場を 作った 2 間接的に伝えた 1 伝えていない 0</p>	評価尺度の段階の変更
内なる力を強める	看護師は患者の状況を理解を促す。	2.1. 患者の状況を理解を促す。	(2-A-1) 看護師は、患者 や家族のおかれて いる状態・状況を 説明している) 4-B-2 看護師は 患者に必要な鎮痛 剤などを間違い なく予薬してい る -インシデントを 防ぐ領域で評価 する	2.1.2. 看護師は、 痛みの原因や根 拠を具体的に説 明する。	<p>&lt;***さんの痛みの 状態について本 人に説明した内 容を具体的に お書きください。 &gt;</p> <p>あなたの自己評価 を選んでください。</p> <p>3: 具体的に原因 や根拠を伝えた 2: 具体的では ないが伝えた 1: (-) 0: 伝えてい ない(わかって いると思っ ているので 伝えてい ない場合 も含む)</p>	<p>8-4) ***さんの 痛みの状態は 本人にどのよ うに説明して いますか。 &lt;あなたの自己 評価を選んで ください。&gt; a. 原因、根拠 を具体的に 伝えている b. 具体的 ではないが 伝えている c. 本人が 原因・根拠 をわかって いると思っ ているので、 伝えてい ない d. 全く 伝えてい ない</p> <p>評価尺度 具体的に原因・ 根拠を言っ ている 2 伝えては いるが内容 は不明 1 言っ ていない 0</p>	評価尺度の段階の変更
内なる力を強める	看護師は患者の状況を理解を促す。	2.1. 患者の状況を理解を促す。	(2-A-1) 看護師は、患者 や家族のおかれて いる状態・状況を 説明している) 4-B-2 看護師は 患者に必要な鎮痛 剤などを間違い なく予薬してい る -インシデントを 防ぐ領域で評価 する	2.1.3. 看護師は、 痛みの治療 や処置の説明 を行う。	<p>&lt;痛みに対して 行っている治 療・処置につ いて、*** さんにどのよ うに説明しま したか。また、 その時に配 慮したこと をお書きくだ さい。&gt;</p> <p>あなたの自己 評価を選んで ください。</p> <p>3: 自分または 他の看護師が 説明し、その 患者の反応を 確認した 2: 自分が 伝えた、も しくは他の 看護師が 説明した 内容を知 っているが 患者の反 応を確認 して いない 1: (-) 0: 説明 して いない/ 知らない</p>	<p>8-5) 痛み に対して行 っている治 療・処置 について、 ***さん に説明 して いますか。 a. 自分が 説明して いる b. 自分は 説明して いないが、 ほかの 看護師が 説明した 内容を 知っ ている c. 説明 して いない</p> <p>評価尺度 説明して いる 1 他の 看護師が 説明した 内容を 知っ ている 1 説明 して いない 0</p>	評価尺度の段階の変更

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	新評価尺度	質問項目と評価尺度	改訂理由
内なる力を強める	看護師は患者の理解を促す。	2.1.患者の状況を理解を促す。		2.1.4.看護師は、痛みに対する看護ケアについて説明する。	<p>&lt;痛みに関する看護ケア（医療処置以外）を提供するかをどのように説明しましたか。また、その時に配慮したことをお書きください。&gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3：自分または他の看護師が説明し、その患者の反応を確認した 2：自分が伝えた、もしくは他の看護師が説明した内容を知っているが患者の反応を確認していない 1：（-） 0：説明していない</p>	<p>8-6) 痛みに関してどのような看護ケアを提供するか説明していますか。</p> <p>a. 自分が説明している b. 自分は説明していないが、ほかの看護師が説明した内容を知っている c. 説明していない</p> <p>評価尺度 説明している 1 他の看護師が説明した内容を知っている 1 説明していない 0</p>	評価尺度の段階の変更
内なる力を強める	看護師は患者の状況を理解を促す。	2.1.患者の状況を理解を促す。	(2-A-1) 看護師は、患者や家族のおかれている状態・状況を説明している)	2.1.5.看護師は、痛みに関する見通しについて説明する。	<p>&lt;痛みに関する見通しについて、**さんにどのように説明しましたか。また、その時の患者さんの状況を合わせてお書きください。&gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3：自分または他の看護師が説明し、その患者の反応を確認している 2：自分が伝えた、もしくは他の看護師が説明した内容を知っているが患者の反応を確認していない 1：（-） 0：説明していない/知らない</p>	<p>8-7) 痛みに関する見通しを**さんに説明していますか。</p> <p>a. 自分が説明している b. 自分は説明していないが、ほかの看護師が説明した内容を知っている c. 説明していない</p> <p>評価尺度 説明している 1 他の看護師が説明した内容を知っている 1 説明していない 0</p>	評価尺度の段階の変更
内なる力を強める	看護師は、患者の予測性や見通しを高める。	2.2.予測や見通しを高める	2-B-1 患者或いは家族にその日の予定が説明されている	2.2.1その日の予定を伝える	<p>&lt;今日の**さんの一日の流れについて、**さんに話した内容を具体的にお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。&gt;</p> <p>&lt;話していない場合はその理由をお書きください。&gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3：今日の流れを決める際、患者や家族と協議した 2：（協議していないが）時間や誰がするのかを伝えた 1：（協議していないが）何があるのかだけを伝えた 0：伝えていない</p>	<p>1. **さんの一日の流れについて、**さん本人に伝えましたか。伝えた内容を記入してください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。</p> <p>&lt;伝えた内容を具体的にお書きください。&gt;</p> <p>&lt;伝えていない場合はその理由をお書きください。&gt;</p> <p>&lt;あなたの自己評価を選んでください。&gt;</p> <p>a. 今日の流れ（スケジュール）を決める際、患者やご家族と協議した b. （協議はしていないが）時間や誰がするかという予定を伝えた c. （協議はしていないが）何があるかだけを伝えた d. 予定を伝えていない</p> <p>評価尺度 予定を決める際患者と協議している 3 時間や誰がするかという予定を伝えている 2 何があるかを伝えている 1 伝えていない 0</p>	

大項目	中項目	新中項目	小項目	新小項目	新評価尺度	質問項目と評価尺度	改訂理由
内なる力を強める	看護師は、患者の予見性を高める。	2.2. 予測や見通しを高める	2-B-2 患者或いは家族に今後の予定が説明されている	2.2.2. 今後の見通しを伝える	<p>***さんの今後の見通しについて、話した内容を具体的にお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。（事情があって虚偽の見通しを伝えた場合も伝えたものとしてお答えください。）&gt;</p> <p>&lt;伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのか、理由をお書きください。&gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3: 自分または他の看護師が伝えた、もしくは医師が伝える場をつくった 2: 間接的に伝えた（パンフレット等） 1: (-) 0: 伝えていない</p>	<p>4. ***さんの見通しを***さん本人にどのように伝えていきますか。その内容をお書きください。患者について答えられない場合は、家族についてお答えください。（事情があって虚偽の見通しを伝えた場合も伝えたものとしてお答えください。）&gt;</p> <p>&lt;伝えた内容をお書きください。&gt;</p> <p>&lt;伝えていない場合は、なぜ、伝えなかったのか、理由をお書きください。&gt;</p> <p>&lt;あなたの自己評価を選んでください。&gt;</p> <p>a. 自分が伝えた b. 医師が伝える場を作り伝えた c. 間接的に伝えた（例：誰かに頼んだ、パンフレットを渡した） d. 伝えていない</p> <p>評価尺度 自分が伝えた 2 医師が伝える場を作った 2 間接的に伝えた 1 伝えていない 0</p>	評価尺度の段階の変更
内なる力を強める	看護師は、患者の予見性を高める。	2.2. 予測や見通しを高める	2-B-2 患者或いは家族に今後の予定が説明されている	2.2.3. 退院計画を患者と共有する。	<p>&lt;***さんの退院計画と目標はどのようにして決めましたか。その内容をお書きください。&gt;</p> <p>あなたの自己評価を選んでください。</p> <p>3: 患者・家族と協議して退院計画を立てた 2: 患者・家族と協議していないが、退院計画を立て、患者に伝えた 1: 退院計画はあるが、患者に伝えていない 0: 退院計画を立てていない</p>		予測や見通しの具体的実施項目として退院計画の立案について問う。
家族の絆を強める		3.1. 家族／重要他者とともにいる場を確保する。		3.1.1. 面会時間を融通できることを家族に伝える。	<p>***さん本人や家族に、必要に応じて面会時間が融通できることを伝えましたか。</p> <p>3: 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した 2: 自分または他の看護師が伝えた 1: 間接的に伝えた（入院のパンフレット等） 0: 伝えていない</p>		家族との絆を強めるための機会の提供ができることを知らせることは重要。
家族の絆を強める		3.1. 家族／重要他者とともにいる場を確保する。		3.1.2. 面会のために看護ケアの時間を配慮できることを家族に伝える。	<p>***さんや家族に、面会の際には看護ケアの時間を調整できることを伝えましたか。</p> <p>3: 自分または他の看護師が伝え、家族が承知していることが確認した 2: 自分または他の看護師が伝えた 1: 間接的に伝えた（入院のパンフレット等） 0: 伝えていない</p>		患者にとっては、治療や看護ケアの処置の時間を融通することが望ましいことではないことがあるので、融通することができることを伝えるということにした。融通することのチャンスがない場合もあるので、融通したかどうかは問わない。この患者および家族について、今日でなくてもよいので、自分または他の看護師が事実を伝えただろうかについて問う。